

30年度全国学力・学習状況調査結果について

4月17日（火）に実施された、3年生対象の全国学力量習状況調査（国語A〔基礎〕・国語B〔活用〕、数学A〔基礎〕・数学B〔活用〕、理科の学力調査、質問紙による学習状況調査）の結果が返却されましたのでお知らせします。

【学力調査】

- 国語は、A問題・B問題ともに平均正答率が全国平均、県平均を上回りました。
 - ・「質問の意図を正しく捉える」「目的に応じて文章を読み取り、内容を整理する」ことに課題があります。
- 数学は、A問題で平均正答率が全国平均、県平均を上回りましたが、B問題で全国平均、県平均を下回りました。
 - ・「事象を数学的に解釈し、的確に処理する」〔等式の性質の使い方〕〔確率の意味〕「証明した事柄をもとにして、新たな性質を見いだす」ことに課題があります。
- 理科は、平均正答率が全国平均、県平均を上回りました。
 - ・「実験や観察で、目的に応じた適切な実験方法や必要な条件を設定する」ことに課題があります。

【学習状況調査】

◎肯定的な回答の割合が多かった項目

- ・将来の夢や目標を持っている。人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・家で、宿題や予習・復習をしている。家で予習やテスト勉強などの自主学習において、教科書を使いながら学習している。
- ・平日に3時間以上勉強する。
- ・地域の行事に参加している。地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。
- ・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

◇肯定的な回答の割合が少なかった項目

- ・自分には良いところがある。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・平日、2時間以上3時間未満 勉強をする。
- ・数学の問題が分からないときは、諦めずいろいろな方法を考える。
- ・授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組み立て方を工夫して発表しようとしている。

【今後の取組】

- ・設問の内容や解法を、個人で考えるだけでなく、グループで話し合い確認する活動を取り入れる。
- ・深く考えないと解決できない課題に対して、「どうすれば解けるか」をグループで意見交換や説明する場面を設定するなど、「学び合い」を活性化させる。
- ・既習事項の復習を授業に取り入れる。
- ・計画的に家庭学習に取り組む。平日に2時間30分以上学習習慣を身につけさせる。
- ・中学校ブロックで、学期1回の「メディアコントロール・ウィーク」の取組を進め、メディアと上手に付き合う力を高める。